

第 15 回いわき都市圏総合都市交通推進協議会

1 日時 令和 7 年 1 月 20 日(月)10 時 30 分～12 時 00 分

2 場所 いわき市役所 本庁 8 階 第 8 会議室

3 参加者

No	区 分	所 属	委員氏名	出欠	備考
1	学識経験者	独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校 都市システム工学科 教授	齊藤 充弘	出席	会長
2	一般旅客自動車 運送事業者等	公益社団法人 福島県バス協会 専務理事	宍戸 紳一郎	出席	
3		一般社団法人 福島県タクシー協会 いわき支部 支部長	吉田 憲一	出席	
4	貨物自動車運送事業者 が組織する団体	公益社団法人 福島県トラック協会 いわき支部 支部長	松尾 活秀	出席	
5	一般乗合旅客自動車 運送事業者	新常磐交通株式会社 常務取締役	門馬 誠	出席	
6	高速道路管理者	東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所 副所長	加藤 文啓	出席	
7	鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社水戸支社 企画室長	石川 健一	出席	
8	商工業	いわき商工会議所 議員	山崎 建見	出席	
9	公共交通機関 利用者代表	いわき市行政嘱託員連合協議会 副会長	鷲 一雄	出席	
10		福島県高等学校PTA連合会いわき地区 副会長	大槻 実	出席	
11		いわき市社会福祉協議会 副会長	越智 春子	出席	
12	一般旅客自動車運送事業者の 事業用自動車の運転者が組織 する団体	常磐交通労働組合 執行委員長（バス運転手代表）	中丸 一三	出席	
13	国	国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 副所長	田中 隆紹	出席	
14		国土交通省東北地方整備局 小名浜港湾事務所 副所長	浅野 宣幸	出席	
15		国土交通省東北運輸局福島運輸支局 首席運輸企画専門官	黒田 雅樹	出席	
16		福島県いわき地方振興局 次長兼企画商工部長	角田 和行	出席	
17	県	福島県いわき建設事務所 主幹兼企画管理部長	佐藤 勇雄	出席	
18		福島県小名浜港湾建設事務所 次長	鈴木 好美	出席	
19	公安委員会	福島県いわき中央警察署 交通第一課長	伊藤 太幸	代理出席 津野 隆浩	
20		福島県いわき東警察署 交通課長	米山 大吾	欠席	
21		福島県いわき南警察署 交通課長	有松 直樹	出席	
22	市	いわき市総合政策部 部長	津田 一浩	代理出席 小島 誠一	
23		いわき市観光文化スポーツ部 部長	赤津 俊一	出席	
24		いわき市土木部 部長	市毛 芳幸	出席	
25		いわき市都市建設部 部長	紺野 克彦	出席	副会長
アドバイザー					
1	学識経験者	独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科 教授	芥川 一則	欠席	
2	学識経験者	福島大学 経済経営学類 教授	吉田 樹	出席	

4 配布資料

次第

席次

委員名簿

議案書

資料 1 : 会議資料

参考資料 1 : いわき市地域公共交通計画利便増進実施計画（案）

参考資料 2 : いわき市地域公共交通計画（案）

5 概要

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議題

① いわき市地域公共交通利便増進実施計画の決定について（意見聴取）

② いわき市地域公共交通計画の改定について（協議）

(4) 報告事項

① 主要なバス路線の減便への対応について

② 交通事業者からの報告（鉄道、タクシー、路線バス）

(5) その他

(6) 閉会

6 議事内容

(3) 議題

① いわき市地域公共交通利便増進実施計画の決定について（意見聴取）

○会長

- ・議題①のいわき市地域公共交通利便増進実施計画の決定について、説明を踏まえて、委員の皆様からご質問やご意見を頂きたい。

○アドバイザー

- ・計画に関する内容について異論はない。
- ・実証運行を行った「平一いわきニュータウン」、「平一小名浜」間では、一部区間において15分等間隔で運行するなど利便性の向上が図られており、目論見通り利用者数は増加している。
- ・令和6年5月から交通系ICカードが導入されたことから、今後は、これらから得られるデータを活用し、利用者数等について毎年比較できるようにして頂きたい

○会長

- ・議題①の内容については当該計画について国土交通大臣の認定を受けるうえで東北運輸局に対し報告が必要な内容となる。
- ・事務局については、今後は、4月からの本格運行や国補助の採択に向け、関係各所との手続きを進めるようお願いしたい。

② いわき市地域公共交通計画の改定について（協議）

○会長

- ・議題②のいわき市地域公共交通計画の改定について説明を踏まえて、委員の皆様からご質問やご意見を頂きたい。

○アドバイザー

- ・計画の改定内容について異論はない。
- ・路線バスの最適化を先行的に実施していく路線について、市民の関心を高め、認知して頂くために「〇〇ライン」等の愛称をつけて事業について広く周知を図った方が良いのではないかと。
- ・いわき市は中核市でも有数の車社会であることを逆手にとり、基幹バス路線沿線にある大型商業施設の駐車場等を活用した簡易的なパークアンドライドを行うなど車社会を前提とした取り組みを行うことも大切である。

○委員

- ・アドバイザーのご意見を参考に路線・系統の周知について改善を検討したい。

○会長

- ・議題②のいわき市地域公共交通計画についてお諮りする。
事務局から提案を受けた内容を計画（案）として決定し、今年度内の改定に向けた諸手続きを進めていくことについて、了承してよいか。

⇒異議なし

(4) 報告事項

① 主要なバス路線の減便への対応について

○会長

- ・ご質問や確認などがあればお願いしたい。

○アドバイザー

- ・非常に良い取組みだと思う。夜間時間帯の便が無くなると朝の利用者も減ってしまう傾向がある。
- ・他市の取組みでは通常の路線バスより運賃が高く設定されている場合が多い。本実証においては通常の路線バスと運賃が同額であるため、周知を図る際にアピールした方が市民の方も安心してご利用頂けると思う。

②交通事業者からの報告（鉄道、タクシー、路線バス）

○委員 東日本旅客鉄道㈱

- ・昨今の物価高や人材の確保といった経営環境の変化に対応するため、令和8年3月の運賃改定に向けた申請を行った。
- ・今後10年間で、これまで利用出来なかった異なるエリア間での利用を解消するなど、S u i c a機能の向上を図る。

○委員 福島県タクシー協会いわき支部

- ・東北運輸局では、令和5年10月から令和6年1月にかけて福島県における法人タクシー事業者の保有する車両数の7割以上の事業者から申請があったことを受け、改定要否の検討を行った結果、運賃改定が必要と判定。
- ・現在、県内の数十社を対象に審査を行っており、国の認可を待っている状況。
- ・課題であった運転手確保については市による2種免許取得の補助金を活用し、積極的に採用を行っている。いわき地区で新任のタクシードライバーとして採用した人数は令和5年度が23名であったのに対し、令和6年度は50名の運転手を確保しており、補助金の効果が大きいものと考えている。今後についても継続して採用活動を続けていきたい。

○委員 新常磐交通㈱

- ・令和7年4月1日の運賃改定に向け、本日1月20日に福島運輸支局に対し申請を行う。
- ・運賃改定の背景として利用者の減少、コロナ過による事業の縮小、運転手不足によるダイヤカット、燃料費の高騰等が挙げられる。

○会長

- ・ご質問や確認などがございましたらお願いしたい。

⇒意見なし

(5)その他

○アドバイザー

- ・協議会の開催にあたっては、ホームページ等を活用しより一層市民への周知を図り、関心を高めていく取組みが必要である。
- ・市内のバスロケーションシステムについては Google Map 上でも確認が出来る。利用者に対し広く周知するようお願いしたい。

以上